



退職のごあいさつ

埜田 まゆみ

このたび、2022年12月末で退職することになりました。長年にわたり大変お世話になりました。

思い起こせば、34年前に結婚を機に生まれ育った富山を離れ、滋賀に転居した時、当時の膳所診療所の事務長（故人）より坂本に新しく診療所を作る予定があると伺ったのが、みなさまのご縁の始まりでした。新しい生活のスタートと時を合せて、診療所づくりの運動から参加できた事は、貴重な経験となりました。

従来診療所のイメージとは違って、多目的に活用できる大きなホールのある新築の診療所の開所式に、若かった私はワクワクしながら参加しました。

それからは、3人の子育てをしながら必死の毎日でしたが、地域の皆様と今村先生をはじめ、一緒

に働く職員に支えられてこれまで勤務できたと思います。2004年には日和の里が開設され、施設長として仕事ができた事もよい思い出です。

今後は、富山に住む高齢の母の介護や、近くに住む3人の孫の相手やこれまでできなかった趣味や旅行など、毎日を大切に日々を送りたいと思っています。

これからも坂本民主診療所と日和の里が、みなさまのために大切な役割を果たしていくことを願っています。

長い間、本当にありがとうございました。



お知らせ 福田暁子医師の診察（埜田医師からの引継ぎ）は12月から開始に変更になりました。

介護保険の大改悪は許されない ～経済的な心配なしに必要なサービスが利用できる制度へ～

厚生労働省は10月、負担増と給付減の項目がずらりと並ぶ介護保険の見直しを提示しました。

①利用料2割、3割負担の対象者を拡大、②要介護1・2を保険給付からはずし市町村運営の総合事業へ移行、③ケアマネジャーが作成するケアプランを有料化、④介護保険料の納付年齢の引き下げと利用年齢の引き上げ、⑤介護老人保健施設など多床室の部屋代を保険給付からはずす、⑥特養ホーム等の入所者で低所得者の食費・居住費を減額する補足給付制度の要件に不動産を加える、⑦「高所得者」の保険料引き上げ

介護団体や家族の会から「給付はずしは利用者の自立を阻害し重症化を招く」「家族の負担を増やし介護離職につながる」「負担増で利用を控え状態が悪化する」など批判の声がでています。署名のご協力をお願いします。



<3種類の請願署名にご協力ください> ★同封の返信封筒は切手は不要です

- ◆介護保険制度の改善を求める請願署名 ～介護する人・受けられる人がともに大切にされる制度へ
- ◆マイナンバーカード取得義務化につながる「健康保険証の原則廃止」と「マイナンバーカードの保険証利用等に係るシステム導入の義務化」の撤回を求める署名
- ◆国の制度として、18歳までの医療費窓口負担を無料に

★インフルエンザ予防接種の予約受付中★（接種は12月28日まで、新型コロナワクチン1月再開予定）

- ◆65歳以上の大津市民：1,400円 ◆友の会会員（税込）：2,600円 ★今年度の会費納入が必須です
- ◆一般（税込）：大人3,600円 13歳未満3,100円

10月の太陽光発電量 **981kwh**

CO2削減量… 495Kg
杉の木の年間吸収量 約35本分